

Art Space "O" Concert No.209

児玉麻里 ピアノリサイタル

2017年7月2日(日) 午後6時開演 アートスペース・オー



Mari KODAMA, piano 大阪生まれ。6歳で渡欧。14歳の時、最年少、最優秀でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをジェルメース・ムニエ、タチアナ・ニコラエワ、アルフレッド・ブレンデルに学ぶ。室内楽をジュヌヴィエヌ・ジョア・デュティユに学ぶ。17歳でブルミエ・プリを獲得して卒業。同年、同音楽院のマスター・コースに進み、19歳で終了。この間、スイス青少年コンクール、ヴィオッティ・ヴァルセリア国際コンクール、セニガリア国際コンクール、ブゾーニ国際コンクール等で、優勝、上位入賞を果たす。同音楽院を終了後すぐに、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団とバービカン・センターで共演、ロンドン・デビューを果たす。更に同年、クィーン・エリザベス・ホール/パーセル・ルームで、ロンドンでのリサイタル・デビュー。「ピアノの詩。これほど若くて感受性に富んだピアニストには会えない…」など賞賛を受ける。以来、欧州各国、ついで米国、更に近年は日本、シンガポールでもオーケストラとの共演、リサイタル、音楽祭への出演等々、精力的な演奏活動を展開しており、国際的な名声を確立している。共演した主なオーケストラは、欧州では、ベルリン・フィル、ロンドン・フィルハーモニー管、フィルハーモニー管、ハレ管、イタリア国立放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、オランダ放送管、リヨン国立歌劇場管など、米国では、ロスアンジェルス・フィル、パークレイ響等。更

にアジアでは、N響、都響、読売日響、日本フィル、大阪フィル、名古屋フィル、シンガポール響等におよぶ。共演した主な指揮者は、ケント・ナガノ、シャルル・デュトワ、フランス・ブリュッヘン、ベルンハルト・クレー、レイモンド・レppardなどの錚々たる顔ぶれが並ぶ。また、出演した主な音楽祭は、欧州ではザルツブルク、エヴィアン、エクサン・プロヴァンス、ヴェルピエ、モンペリエ、オールデバラ等。アメリカでは、ハリウッド・ボール、ラヴィニア、アスペン、ミッドサマー・モーツァルト・フェスティバル(サン・フランシスコ、パークレイ、スタンフォード)など世界的な音楽祭に多く出演している。日本では、サイトウ・キネン・フェスティバル、名古屋国際音楽祭などにも出演し、高い評価を得ている。この間、1995年にはカーネギー・ホール/ワイル・リサイタル・ホールでニューヨーク・デビューを果たした。また、ロンドンのウィグモア・ホールの再出演のほか、フランス・ブリュッヘン指揮オランダ放送管とのオランダ・ツアーに参加、チェロのムスティスラフ・ロストロポーヴィチとギリシャ・ツアーおよびサイトウ・キネン・フェスティバルで共演した。1999年からは、ロスアンジェルスにて「ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲演奏会」を6回にわたり開催し、ロスアンジェルス・タイムス等で絶賛を博した。近年は日本でも演奏活動を開始し、今後の活躍が注目されている。2003年からは、浜離宮朝日ホールにて全7回3年間をかけてベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲演奏会に取り組み、高い評価を得た。録音においては、ケント・ナガノ指揮フィルハーモニア管との共演で、「プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第1番、第2番&ピアノ・ソナタ第7番」(ASV Ltd.)をリリースしている。また、2003年にはペンタトーン・ミュージック/東京エムプラスより、「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ集」や「レーヴェ：ピアノ協奏曲第2番&ショパン：ピアノ協奏曲第2番(ケント・ナガノ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団)」をリリースし、好評を得ている。

ベートーヴェンプログラム

- ： ピアノ・ソナタ 第19番 ト短調 Op.49-1
- ： ピアノ・ソナタ 第20番 ト長調 Op.49-2
- ： ピアノ・ソナタ 第 8番 ハ短調 Op.13「悲愴」
- ： ピアノ・ソナタ 第29番 変ロ長調 Op.106「ハンマークラヴィーア」

チケット：全自由席5000円 電話/メール予約100名 Tel.042-796-3971 (水曜日) 〒194-0003 町田市小川2-28-21
E-mail: ohashi@artspace-oh.com http://www.artspace-oh.com

ご注意： 駐車場はありません。お車でお越しの方は成瀬駅南口近くに有料駐車場がありますので、ご相談ください。裏手住宅地への路上駐車は呉れぐれもなさないよう、ご協力をお願い致します。

